

# 北九州市立大学 地域戦略研究所 NewsLetter

【発行】

公立大学法人

北九州市立大学 地域戦略研究所

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1

Tel: 093-964-4302

Fax: 093-964-4300

chiikiken@kitakyu-u.ac.jp

http://www.kitakyu-u.ac.jp/iurps/

## 地域志向科目「北九州・下関地域の魅力ある企業を知る」開講

地域戦略研究所では、9月4日（月）から9月8日（金）までの5日間、小倉駅ビルの本学サテライトキャンパスを会場に、関門地域の5大学（北九州市立大学・九州共立大学・九州国際大学・西日本工業大学・下関市立大学）で構成される「大学コンソーシアム関門」の開講科目のひとつとして「北九州・下関地域の魅力ある企業を知る」を開講しました。本科目は、北九州・下関地域の様々な業種の企業関係者を講師に招き、同地域の企業や産業の特性について話を伺うもので、今年度は、同コンソーシアムに参画する5大学より約30名の学生が履修しました。

受講生は、5日間で計14社の企業関係者から、自社の強み、独創性、沿革、将来展望などをはじめ、自社や業界を取り巻く環境、地域社会との関わりなどについて学び、本地域の企業・産業に対する理解を深めることができました。ご協力いただきました企業関係者の皆様、ありがとうございました。

【担当：内田教授、田中特任准教授、就職支援室 COC+担当係】

### ■登壇企業（登壇順、敬称略）

9/4(月)：(株)安川電機、(株)不動産中央情報センター、(株)井筒屋

9/5(火)：(株)北九州銀行、(株)サンキュードラッグ、阪九フェリー(株)

9/6(水)：シャボン玉石けん(株)、(株)リーガロイヤルホテル小倉、(公財)健和会

9/7(木)：(株)ゼンリン、林兼産業(株)、(株)スターフライヤー

9/8(金)：(株)三井ハイテック、(株)コタベ

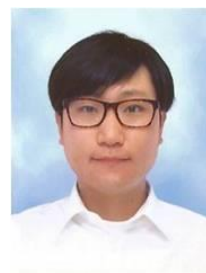


## リュ ヨンジン 柳 永珍 特任講師が着任しました

地域戦略研究所に特任講師1名が2017年10月1日付で着任しました。

### 【着任のご挨拶】

はじめまして。2017年10月1日、北九州市立大学地域戦略研究所の特任講師に着任致しました。柳永珍と申します。私は現在、主に文化と経済行為や、文化分野を通じた地域活性化・政策をテーマとした研究、日韓の地域交流活動を行なっています。北九州地域を含む関門圏の地域発展の拠点である当研究所で研究・教育に携われることを誇りに感じています。これからも研鑽を積み続けて、地域と共に成長していくように努力していく所存です。



### 北九州市立大学 地域戦略研究所 メンバー(専任・特任教員) (2017年10月1日現在)

	氏名	専門分野等
所長	柳井 雅人 副学長 (経済学部教授)	経済地理学、企業立地論
専任所員 (五十音順)	内田 晃 教授 【副所長】	都市計画、都市設計、住宅計画
	片岡 寛之 准教授	都市解析、リノベーションまちづくり
	小林 敏樹 准教授	都市計画、まちづくり、エリアマネジメント
	深谷 裕 准教授	ソーシャルワーク、司法福祉、精神保健福祉
	南 博 教授	都市政策、地域活性化、スポーツまちづくり
	吉村 英俊 教授	地域産業政策、中小企業経営、アジアの産業人材育成
特任教員 (五十音順)	田中 ひろみ 特任准教授	COC+事業関連全般、キャリア教育
	柳 永珍 特任講師	地域活性化、文化政策、日韓交流活動

# 地域戦略研究所および所属教員の最近の主な活動記録

## 【2017年7月～9月】

### ミクニワールドスタジアム北九州にてJリーグスタジアム観戦者調査を実施 [南博教授]

北九州市立大学地域戦略研究所では、地元プロサッカークラブ・ギラヴァンツ北九州がJリーグに加盟した2010年以降、毎年、Jリーグからの受託研究としてスタジアム観戦者調査を実施しています。

2017年は9月23日(土)にミクニワールドスタジアム北九州(北九州市小倉北区)で開催された2017明治安田生命J3リーグ第24節 ギラヴァンツ北九州 vs カターレ富山 において調査を実施し、472サンプルの有効回収を得ました。

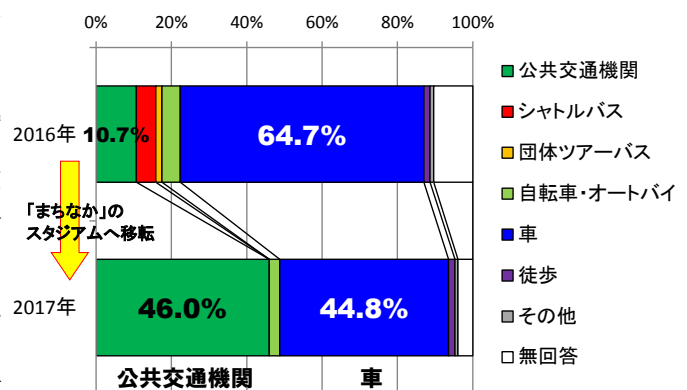
今年の調査は、2017年2月に使用開始されたミクニワールドスタジアム北九州において初めて実施する調査であり、Jリーグの全クラブ共通設問に追加して実施する北九州独自設問においては、新しいスタジアムに対する観戦者の評価や、スタジアム整備の社会的・経済的効果を測定するための質問も行いました。

調査結果については、2017年度中にJリーグから公表されるほか、北九州独自設問については本研究所の地域課題研究の一環として公表する予定です。結果はギラヴァンツ北九州の経営に役立てていただくとともに、ミクニワールドスタジアム北九州の整備効果を北九州市等が分析する際の基礎データとして活用いただくことを予定しています。

なお、結果を概観すると、昨年までの北九州市八幡西区の住宅街にある北九州市立本城陸上競技場をホームスタジアムとしていた時の結果と、ミクニワールドスタジアム北九州にホームスタジアムを移した今年の結果は、回答傾向に様々な変化が見られます。特徴的な項目の一つとして、「スタジアムまでの主な利用交通手段」が挙げられます。本城陸上競技場へは車(自家用車)利用が2/3を占めていたのに対し(2016年までの各年は同様の傾向)、ミクニワールドスタジアム北九州へは公共交通機関を利用する観戦者と車利用の観戦者が約45%ずつになっていることが明らかになりました。車の利用率が減少することでCO<sub>2</sub>削減効果が期待できるとともに、公共交通機関利用者の増大によって小倉駅周辺の「まちなか」のにぎわい増加や消費拡大が期待できます。まちなかに新スタジアムを整備した効果が顕れていると言えるでしょう。



調査の様子(写真中央の青いビブス着用が調査員)



観戦者のスタジアムまでの主な利用交通手段  
(2016年と2017年の比較)

※ギラヴァンツ北九州応援者について集計

### その他の主な活動記録

※各項目ごとに原則として担当教員等(□表記)の五十音順に列挙

#### ■地域課題に関する研究、共同研究、受託研究での調査等(抜粋)

- 関門地域共同研究会 平成29年度第2回運営委員会 (7/13: 西日本総合展示場新館(AIM))
- 産業遺産及びBRTに関する現地調査 (8/3~8/9: ドイツ他) [内田]
- 産業人材の育成体制の構築にかかわる関係者協議 (8/6~11: カンボジア・プノンペン他) [吉村]
- 女性活躍推進にかかわる先進地調査 (9/19~20: 福井市、金沢市) [吉村]
- 四川大地震後の復興住宅に関する現地調査 (9/21~9/26: 中国) [内田]
- Jリーグスタジアム観戦者調査 (9/23: ミクニワールドスタジアム北九州) [南]

#### ■講演等

- 平成29年度関門地域共同研究会 成果報告会 (7/13: 西日本総合展示場新館(AIM))
- 日本学術会議第23期地域学分科会「北九州・下関まなびとびあを核とした地方創生モデルの構築」(8/5) [柳井]
- 北九州市立老年者研修大学校・穴生学舎「ベトナム事情」(7/19) [吉村]
- 田川飛翔塾 (8/17: 福岡県立大学) [内田]
- 北九州市立老年者研修大学校・周望学舎「ベトナム事情」(9/21) [吉村]
- なかまガイドの会定例勉強会 (9/27: 中間市地域交流センター) [内田]
- ミクニワールドスタジアム北九州に関するヒアリング対応 (8~9月: 企業・大学研究者・漫画家等) [南]

(前ページからの続き)

## ■国・地方自治体・経済界等の各種審議会・委員会（開催された主なものを抜粋）

- 北九州市水道事業検討会（座長）[柳井]
- 宮若市総合計画審議会（会長）[内田]
- 中間市地域公共交通協議会（委員）[内田]
- 芦屋町都市計画審議会（会長）[内田]
- ストック型社会の実現に向けた情報基盤の整備に関する検討委員会（委員）[内田]
- 北九州市住生活基本計画（第2期）策定に係る懇談会（座長）[南]
- 宗像市総合計画等推進委員会（委員長）[南]
- 関門海峡日本遺産協議会（会長）[南]
- 直方市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会（委員長）[内田]
- 水巻町総合計画審議会（会長）[内田]
- 芦屋町地域公共交通協議会（委員）[内田]
- 芦屋港活性化委員会（委員長）[内田]
- 福岡県行政改革審議会（委員）[南]
- 北九州市国土強靱化地域計画有識者会議（副座長）[南]
- 日田市行政改革推進委員会（委員）[南]
- 北九州 e-PORT 構想 2.0 フェーズⅡ検討委員会 [吉村]

## ■報道

- 毎日新聞、2017年7月6日、北九州面「北九大生「ミクスタ集客策」」 [南]
- FM KITAQ、2017年7月7日、「FORZA KITAQ」（17:00～18:00） [南]
- NHK 山口、2017年7月10日、情報維新！やまぐち（18:10～19:00）「関門海峡の文化財 情報発信へ案内板など設置」 [南]
- 山口新聞、2017年7月11日、「関門地域を滞在型観光地に 下関、北九州両市協議会が第1回総会」 [南]
- NHK 北九州、2017年7月13日、ニュースブリッジ北九州（18:10～19:00）「ミクスタ 若い世代を呼び込め」 [南]
- NHK 北九州、2017年7月13日、ニュースブリッジ北九州（18:10～19:00）「”若い人の参加を” 地域の防災力を考える」 [関門地域共同研究会]
- 読売新聞、2017年7月14日、北九州面「災害への備え 専門家ら訴え」 [関門地域共同研究会]
- 毎日新聞、2017年7月15日、北九州面「『地域防災と復興』のシンポ」 [関門地域共同研究会]
- J:COM 北九州、2017年7月19日、ニュース 55 北九州「関門地域共同研究会 成果報告会」 [関門地域共同研究会]
- 読売新聞、2017年7月25日、九州山口総合面「ラグビーW杯 交流効果期待」 [南]
- FM KITAQ、2017年7月29日、「サタデーアベニュー」（11:30～12:30） [南]
- NHK 北九州、2017年8月14日、ニュースブリッジ北九州（18:10～19:00）「スペースワールド閉園 跡地利用めぐる地元の思いは」 [南]
- 『市報しものせき 2017年9月号』、特集「日本遺産認定 関門”ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」 [南]
- FM KITAQ、2017年9月22日、「FORZA KITAQ」（17:00～18:00） [南]

## 【告知】 「全国カレッジフットパスフォーラム in 北九州」を開催します

11月10日（金）に「全国カレッジフットパスフォーラム in 北九州」を本学北方キャンパスで開催します。

フットパス、まちあるき、サイクリングなど、着地型観光の分野で地域に根差した活動をしている全国の高校・大学から約20名の教職員、110名の学生が集まり、21題の研究発表を行います。その後、課題解決方法や地域との連携手法などについて議論を深めます。

フォーラムは一般公開しますので、自治体、地域の関係者、一般市民の皆様など、興味のある方は是非ご参加ください。 [担当：内田教授]

### 【開催概要】

日時： 2017年11月10日（金）13:30～17:40  
会場： 北九州市立大学・北方キャンパス1号館301教室

詳細は下記 URL をご参照ください。

「カレッジフットパスフォーラム in 北九州」ツイッター： <https://twitter.com/eKhxuURp4oBOQWo>



昨年、北海道科学大学（札幌市）で開催されたカレッジフットパスフォーラムの様子



## 今学期は地域科目3科目を開講 [COC+事業]

北九州市立大学では、COC+事業の実施を契機とし、教養教育科目として新たに“地域科目”を選択必修科目として2016年度から開講しています。この科目は、学生自身の学習・生活の地である北九州・下関地域の文化、歴史、経済、産業等に関する授業で構成し、学生自らがこの地の魅力を知り、キャリア形成について考えることを目的としています。この地域科目は6つの授業で構成し、いずれも地域戦略研究所が提供する授業です。

10月からスタートした2学期は、「地域の文化と歴史」（担当：南教授）、「地域の社会と経済」（担当：柳特任講師）および「まなびと企業研究Ⅰ」（担当：田中特任准教授）の3科目を開講しています。1年次配当の「地域の文化と歴史」と「地域の社会と経済」は2年目の開講、2年次配当の「まなびと企業研究Ⅰ」は今年から開講する科目です。3科目合わせて約800人の学生が、北九州・下関地域への理解を深めたり、社会課題への対応方策について学んだりする授業に真剣に取り組んでいます。

今号では「地域の文化と歴史」の概要を紹介します。

### ■地域科目「地域の文化と歴史」について

**【目的】** 北九州・下関地域のあゆみ、及びその過程で生まれた地域における文学を始めとする様々な文化に関して、基本的な事項を学ぶことを通じ、北九州市等の地域への愛着を深めるとともに、地域の課題を考察するきっかけをつかむことを目指します。

**【内容】** 授業においては、各トピックに関する北九州・下関地域の第一人者をゲストスピーカーとしてお招きし、北九州・下関地域出身者のみならず地域外出身者にとっても学生生活やその後の諸活動に際しての学びとなるお話をいただきます。第2～7回は歴史、第8～15回は文化について学びます。授業計画は次のようになっています。



「地域と文化と歴史」第2回授業の様子（2017年10月13日（金））

2017年度「地域の文化と歴史」授業計画

回	分類	テーマ	ゲスト講師の所属組織等
第1回	—	ガイダンス	※担当教員（地域戦略研究所 南教授）が実施
第2回	歴史	古代の地域	下関市立土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
第3回		平安～鎌倉時代の地域	下関市立考古博物館
第4回		室町～江戸時代の地域	北九州市立いのちのたび博物館
第5回		幕末期の地域	下関市立歴史博物館
第6回		明治以降の日本の近代化と地域	北九州市企画調整局政策部世界遺産課
第7回		戦前・戦中・戦後復興期の地域	※担当教員（地域戦略研究所 南教授）が実施
第8回		文化	地域の美術、現代アート
第9回	地域の漫画文化、ポップカルチャー		北九州市漫画ミュージアム
第10回	地域の映画文化		北九州フィルムコミッション
第11回	地域の文学①		北九州市立文学館
第12回	地域の文学②		北九州市立松本清張記念館
第13回	地域の文化財 ～「日本遺産」について		北九州市市民文化スポーツ局文化部文化企画課文化財係
第14回	地域の芸術、音楽、演劇		北九州芸術劇場
第15回	小倉織の過去・現在・未来		築城 則子 氏（染織家）

## 今年度も「関門地域共同研究」を実施中

北九州市立大学地域戦略研究所と下関市立大学附属地域共創センターで構成する「関門地域共同研究会」は、1994年度から関門地域に関する様々な調査研究に取り組んでいます。2017年度は2つの共同研究を実施中です。

■ 関門地域の人口減少の実態とその対策（幹事：下関市立大学）

■ 関門地域における子どもの貧困の実態とその支援のあり方に関する調査研究（幹事：北九州市立大学）